

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月14日

【四半期会計期間】 第23期第2四半期(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 株式会社ハブ

【英訳名】 HUB CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 兼 危機対策最高責任者 太田 剛

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田三丁目14番10号

【電話番号】 03 - 3526 - 8682

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 高見 幸夫

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田三丁目14番10号

【電話番号】 03 - 3526 - 8687

【事務連絡者氏名】 財務経理部長 小林 正人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第22期 第2四半期累計期間	第23期 第2四半期累計期間	第22期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(千円)	5,917,781	1,807,321	12,052,970
経常利益又は経常損失()	(千円)	323,342	777,856	718,838
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()	(千円)	215,621	1,327,095	470,713
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	631,793	631,793	631,793
発行済株式総数	(株)	11,265,300	11,265,300	11,265,300
純資産額	(千円)	4,276,159	2,854,814	4,259,001
総資産額	(千円)	6,153,877	6,472,582	5,940,165
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失()	(円)	19.14	120.50	41.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
1株当たり配当額	(円)			7
自己資本比率	(%)	69.5	44.1	71.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	497,727	1,073,184	924,485
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	381,504	25,870	860,986
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	209,721	1,876,809	530,271
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,953,960	2,358,440	1,580,685

回次		第22期 第2四半期会計期間	第23期 第2四半期会計期間
会計期間		自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	(円)	7.32	56.47

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は関連会社がないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による消費活動の著しい停滞等を背景に、極めて厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は当事業年度開始直後の3月より、お客様と従業員の安全を最優先し、「1.従業員の手洗い及びアルコール消毒の徹底」「2.従業員の出勤前の検温及びそれに基づく出勤停止措置の徹底」「3.アルコール消毒液の店内設置」「4.営業時間の短縮」「5.従業員のマスク着用」などの対策を徹底したうえで営業を実施いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず収束の兆しが見えない社会状況を鑑み、感染拡大防止の観点から、4月4日より政府の緊急事態宣言解除までの約2ヵ月間全店休業を実施、その後の自治体からの要請による更なる営業時間短縮にも応じると同時に、ありとあらゆる角度から全社的に経費を見直し、聖域なきコストカットに全社一丸となって取り組みました。

その一方で、店舗運営の枠組みを越えた今後の新たな収益基盤となり得る事業の構築を図り、当社店舗「HUB」ブランドで人気の一部フードメニューの期間限定WEB販売を実施、「HUB」オリジナルビール「ハブエール」のテイクアウト販売及びWEB販売等をスタートしております。

店舗につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初4月18日の新規出店予定が延期となりました「HUB福岡大名店」は6月3日にオープンを迎えることとなり、同理由により今後の収益確保が困難であると見込まれる3店舗を6月下旬に閉店し、当第2四半期会計期間末現在における店舗数は112店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,807百万円（前年同期比69.5%減）、営業損失は779百万円（前年同期比1,096百万円の減益）、経常損失は777百万円（前年同期比1,101百万円の減益）、四半期純損失は1,327百万円（前年同期比1,542百万円の減益）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて532百万円増加し、6,472百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて716百万円増加し、2,724百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて184百万円減少し、3,748百万円となりました。これは主に減価償却等により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて1,936百万円増加し、3,617百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて1,404百万円減少し、2,854百万円となりました。これは主に四半期純損失1,327百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べて777百万円増加し、2,358百万円となりました。それぞれの詳細は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、1,073百万円（前年同期比1,570百万円の増加）となりました。

主な要因は、税引前四半期純損失が1,283百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、25百万円（前年同期比355百万円の減少）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が35百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1,876百万円（前年同期比2,086百万円の増加）となりました。

主な要因は、短期借入れによる収入が1,450百万円及び長期借入れによる収入が600百万円あったことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,280,000
計	35,280,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,265,300	11,265,300	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	11,265,300	11,265,300		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年8月31日		11,265,300		631,793		195,393

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合 (%)
ロイヤルホールディングス株式会社	福岡県福岡市博多区那珂 3-28-5	3,249,000	29.50
株式会社久世	東京都豊島区東池袋 2-29-7	1,098,000	9.97
みのりホールディングス株式会社	東京都八王子市元横山町 1-18-5	830,000	7.54
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都港区港南 2-15-1)	575,000	5.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町 2-11-3	509,300	4.62
高野 慎一	神奈川県川崎市川崎区	240,900	2.19
ハブ社員持株会	東京都千代田区外神田 3-14-10	192,400	1.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	東京都中央区晴海 1-8-12	115,500	1.05
太田 剛	東京都台東区	114,300	1.04
武井 信達	東京都中央区	108,900	0.99
計		7,033,300	63.86

(注) 1 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 509,300株

株式会社日本カストディ銀行 (信託口5) 115,500株

2 2020年7月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エフエムアール エルエルシーが2020年7月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数 (株)	株券等 保有割合 (%)
エフエムアール エルエルシー	米国 02210 マサチューセッツ州 ボストン、サマー・ストリート245	575,000	5.10

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 252,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,008,900	110,089	
単元未満株式	普通株式 4,200		
発行済株式総数	11,265,300		
総株主の議決権		110,089	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式60株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ハブ	東京都千代田区外神田3-14-10	252,200		252,200	2.24
計		252,200		252,200	2.24

(注)上記の他に単元未満株式として自己株式を60株所有しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長 兼 危機対策最高責任者	代表取締役社長	太田 剛	2020年6月1日
常務取締役 兼 危機対策推進本部長	取締役 (営業管掌)	井上 泉佐	2020年6月1日
取締役 管理本部長	取締役 (管理管掌)	高見 幸夫	2020年6月1日
取締役 営業本部長	取締役 管理本部長	土屋 雅嗣	2020年6月1日

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,580,685	2,358,440
売掛金	74,532	40,911
原材料及び貯蔵品	90,028	66,216
その他	262,578	258,716
流動資産合計	2,007,825	2,724,285
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,033,815	1,938,632
その他(純額)	382,559	322,953
有形固定資産合計	2,416,374	2,261,585
無形固定資産	36,211	84,391
投資その他の資産		
保険積立金	77,187	77,187
差入保証金	1,136,382	1,105,954
その他	266,185	219,178
投資その他の資産合計	1,479,754	1,402,320
固定資産合計	3,932,340	3,748,297
資産合計	5,940,165	6,472,582
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,468	126,902
短期借入金		1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	29,616	74,318
未払金	338,542	281,235
未払法人税等	150,000	184,798
賞与引当金	149,116	48,027
その他	464,655	638,882
流動負債合計	1,392,399	2,754,164
固定負債		
長期借入金		537,250
リース債務	77,941	67,347
長期未払金	4,000	50,415
資産除去債務	206,823	208,590
固定負債合計	288,764	863,603
負債合計	1,681,164	3,617,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,793	631,793
資本剰余金	195,393	195,393
利益剰余金	3,705,364	2,301,177
自己株式	273,550	273,550
株主資本合計	4,259,001	2,854,814
純資産合計	4,259,001	2,854,814
負債純資産合計	5,940,165	6,472,582

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	5,917,781	1,807,321
売上原価	1,560,756	508,088
売上総利益	4,357,025	1,299,232
その他の営業収入	34,086	9,820
営業総利益	4,391,112	1,309,052
販売費及び一般管理費	¹ 4,073,595	¹ 2,088,395
営業利益又は営業損失()	317,516	779,342
営業外収益		
受取利息	19	13
助成金収入		8,195
雑収入	7,412	1,019
営業外収益合計	7,431	9,228
営業外費用		
支払利息	1,605	4,213
支払手数料		3,528
営業外費用合計	1,605	7,742
経常利益又は経常損失()	323,342	777,856
特別利益		
雇用調整助成金		383,187
特別利益合計		383,187
特別損失		
固定資産除却損	3,678	455
店舗閉鎖損失		75,878
臨時休業による損失		² 812,869
特別損失合計	3,678	889,203
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	319,663	1,283,873
法人税、住民税及び事業税	100,790	4,800
法人税等調整額	3,250	38,422
法人税等合計	104,041	43,222
四半期純利益又は四半期純損失()	215,621	1,327,095

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	319,663	1,283,873
減価償却費	213,581	224,907
賞与引当金の増減額(は減少)	1,241	101,088
受取利息	19	13
支払利息	1,605	4,736
雇用調整助成金		383,187
固定資産除却損	3,678	455
店舗閉鎖損失		68,872
売上債権の増減額(は増加)	23,826	33,620
たな卸資産の増減額(は増加)	5,466	23,811
仕入債務の増減額(は減少)	69,901	133,566
未払金の増減額(は減少)	56,150	129,545
未払費用の増減額(は減少)	58,410	159,184
長期前受収益の増減額(は減少)	18,000	
その他	53,404	99,521
小計	621,033	1,416,163
利息の受取額	19	13
利息の支払額	1,616	5,372
雇用調整助成金の受取額		348,338
法人税等の支払額	121,708	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	497,727	1,073,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	345,967	35,230
無形固定資産の取得による支出	4,560	9,000
差入保証金の回収による収入	7,390	31,254
差入保証金の差入による支出	25,395	827
長期前払費用の取得による支出	12,971	8,875
その他の支出		3,440
その他の収入		248
投資活動によるキャッシュ・フロー	381,504	25,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		1,450,000
短期借入金の返済による支出		50,000
長期借入れによる収入		600,000
長期借入金の返済による支出	29,048	18,048
リース債務の返済による支出	22,990	23,831
割賦債務の返済による支出		4,219
配当金の支払額	157,682	77,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	209,721	1,876,809
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	93,497	777,754
現金及び現金同等物の期首残高	2,047,458	1,580,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,953,960	1 2,358,440

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う日本政府による緊急事態宣言や地方自治体からの自粛要請を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月にかけて全店臨時休業を実施いたしました。

5月25日以降、一部店舗から順次営業を再開しておりますが、今後の収束時期及び市場動向を予測することは困難であります。そのため新型コロナウイルス感染拡大の影響が2021年2月期は完全ではないものの徐々に回復に向かうとの仮定をもとに会計上の見積りを行っております。

なお、今後の状況が当該仮定と乖離する場合は、当社の財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
給与手当	1,552,217千円	667,825千円
地代家賃	752,019千円	484,810千円

2 臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染拡大に伴う日本政府による緊急事態宣言や地方自治体からの自粛要請を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月にかけて全店臨時休業を実施いたしました。

そのため、臨時休業期間中等に発生した固定費(人件費、地代家賃等)を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金	1,953,960千円	2,358,440千円
現金及び現金同等物	1,953,960千円	2,358,440千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月22日 定時株主総会	普通株式	157,682	14	2019年2月28日	2019年5月23日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月27日 定時株主総会	普通株式	77,091	7	2020年2月29日	2020年5月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、英国風パブ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	19円14銭	120円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は 四半期純損失()(千円)	215,621	1,327,095
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()(千円)	215,621	1,327,095
普通株式の期中平均株式数(株)	11,263,040	11,013,040

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月13日

株式会社 ハ ブ
取締役 会 御中

有限責任監査法人 ト - マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 田 浩 之

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 口 泰 広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハブの2020年3月1日から2021年2月28日までの第23期事業年度の第2四半期会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハブの2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。